

スクールバス 大規模地震が発生した場合の対応

宮城県立角田支援学校

仙南地域に大規模地震（震度6弱以上）が発生した場合、学校は原則として休校となります。登校後に発生した場合は、保護者の皆様は直ちにお子さんを学校に迎えに来てください。対応の仕方の詳細につきましては、下記のとおりの方針となります。

1 災害発生時の対応

(1) 学校生活中に「震度6弱」以上の地震が起きたとき

- ① 原則として、スクールバスは運行しません ➡ 保護者は学校まで、直ちにお子さんを迎えに来てください。
- ② 直ちに、学校まで迎えに来られない場合 ➡ 保護者が学校へ迎えに来るまでお子さんを預かります。

(2) スクールバスで登下校中に「震度6弱」以上の地震が起きたとき

① 登校中の場合

新たな乗車を打ち切り、スクールバスは学校に直行します。

※バスに乗車した場合は、保護者は学校まで直ちにお子さんを迎えに来てください。

※バス停で乗車待ちの方は、直ちに帰宅してください。その後に学校と連絡をとってください。

② 下校中の場合

スクールバスは可能な限り運行を続け、停留所に保護者がいない場合は通過します。

※直ちに学校と連絡をとってください。連絡が取れない場合は、「災害用伝言ダイヤル」で確認してください。

※通常の運行ができない場合は、東北アクセス宮城営業所（角田）または学校に向かいます。

※教員も学校から各営業所へ向かいます。

③ スクールバスの運行が困難な場合

スクールバスは最寄りの安全な場所で待機し、乗務員が学校と連絡をとって対応します。

※教員がバスへ向かうようにしますが、車内に残留が困難な場合は、警察署や消防署、最寄りの人に応援を依頼します。

(3) 列車・自転車による自力登校中・自力下校中に「震度6弱」以上の地震が起きたとき

- ① 保護者の方は、速やかにお子さんの安全を確認してください。
- ② 教員は、生徒の居場所、生徒の利用する駅に出向き、安否の確認と家庭との連絡を行います。
- ③ 生徒は、最寄りの民家・駐在所・交番に待機し、家庭又は学校に連絡します。保護者は、万一の場合に備えて、生徒と一緒に安全確保の方法や避難の方法を確認しておいてください。

(4) 在宅中に震度6弱以上の地震が起きたとき

① 学校は、原則として休校になります。

※保護者は、学校から連絡があるまで、お子さんを登校させないでください。

※各家庭の状況、お子さんの様子、避難場所などについて、速やかに学校に連絡ください。

※学校から教員が自宅や避難所に出向き、状況等を確認させていただきます。

2 その他

(1) 学校では、情報を次のようにしてお知らせします。

① 「災害用伝言ダイヤル」[再生の手順] 一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS 等は利用可です。

* 「171-2-0224-63-2555」(角田支援学校)を入力 ⇒ プッシュ式なら、1のあとに#を押す。ダイヤル式はそのまま待つ。⇒ 学校からの伝言が流れます。

なお、ダイヤルの開設は、地震発生から30分以上かかるようです。

②緊急連絡一斉メール

③インターネットのホームページ

インターネットを利用して学校のホームページで確認できます。

* アドレス ⇒ <http://kakuyou.myswan.ne.jp>

④公共の報道機関(テレビ、ラジオ等)

放送局への連絡が可能な場合は、ラジオなどでも情報を流してもらうようにします。

(2) 保護者の皆様から学校へ連絡が取れない場合は、下記の方法で伝言を登録してください。

例：災害用伝言ダイヤル「 171→1→0000-00-0000<自宅の電話番号>→1→# 」
のあとに、メッセージを **30秒以内**で入れてください。たとえば、「〇〇です。今から迎えに行きます。待たせてください。」

(3) 「震度5」以下の場合でも、大きな被害がでている場合、基本的には上記の各項目に準じて対応します。